

## I. 調查概要

---



# I. 調査概要

## 1 調査の目的

次期事業計画「第2期吹田市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、市内在住の子育て世帯を対象にアンケート調査を行うことにより、教育や保育、その他子育て支援の量の見込みや施策に対する意向を把握し、事業計画における需要量の見込みを設定するうえでの基礎資料とする。

## 2 調査設計

- (1) 調査地域 吹田市全域
- (2) 調査対象 ①市内在住の0～5歳までの就学前児童の保護者  
②市内在住の小学1年生～6年生の児童の保護者
- (3) 対象者数 6,000人（内訳：①3,000人、②3,000人）
- (4) 抽出方法 住民基本台帳に基づく層化抽出（平成30年11月1日現在）
- (5) 調査方法 郵送による配付及び回収（調査期間中に礼状兼督促はがきを送付）
- (6) 調査期間 平成30年12月13日（木）～平成31年1月8日（火）

## 3 回収結果

区分		配付数	回収数	回収率
就学前児童（0～5歳）	平成30年度調査	3,000	1,808	60.3%
	平成25年度調査	3,000	1,454	48.5%
就学児童（小学生）	平成30年度調査	3,000	1,936	64.5%
	平成25年度調査	3,000	1,462	48.7%
計	平成30年度調査	6,000	3,744	62.4%
	平成25年度調査	6,000	2,916	48.6%

## 4 調査結果の見方

- (1) 図中の「n」は、設問に対する回答者数のことを示す。
- (2) 回答比率（%）は回答者数（n）を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。
- (3) 図表中に「MA%」の表示がある場合は、複数回答（すべてに○、3つまでに○等）を依頼した質問であり、回答比率（%）の計は100.0%を超える。
- (4) 図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

## I. 調査概要

### 5 調査の信頼区間

この調査は標本調査であり、今回得られた回答結果から吹田市全体としての意見を推測することができる。この場合、標本誤差は次の式より近似値を求めることができる。

(ただし、信頼度95%とする)

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

$\varepsilon$  = 標本誤差

N = 母集団 (平成30年10月31日時点の住民基本台帳人口)

・ 0～5歳までの就学前児童 (保護者) 21,195人

・ 6～11歳までの就学児童 (保護者) 21,238人

n = 回答者総数

・ 就学前児童 (保護者) 1,808人

・ 就学児童 (保護者) 1,936人

P = 回答比率

この調査における標本誤差は以下の表の通りである。信頼区間は、下表の数値を本調査の全体の回答率の値 (%) の前後に加えた範囲となる。

#### □ 標本誤差

回答比率 (%)	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
就学前児童	1.0	1.3	1.6	1.8	1.9	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2
就学児童	0.9	1.3	1.5	1.7	1.9	2.0	2.1	2.1	2.2	2.2